

2023年11月10日

各位

会社名 株式会社ジャパンディスプレイ
 代表者名 代表執行役会長 CEO スコット キャロン
 (コード番号 6740 東証プライム)
 問合せ先 執行役員 CFO 坂口 陽彦
 (TEL. 03-6732-8100)

第2四半期連結業績予想と実績値との差異（上振れ） 並びに営業外収益及び特別損失の計上のお知らせ

2023年5月12日に公表した2024年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想（以下「前回発表予想」）と本日発表の実績値との差異が生じたので、お知らせいたします。

また、2024年3月期第2四半期連結会計期間において、営業外収益（業務受託料）及び特別損失（減損損失）を計上いたしましたので、併せてお知らせいたします。

1. 2024年3月期第2四半期連結業績予想と実績の差異

(1) 第2四半期累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	111,400	△26,100	△29,100	△29,900	△32,200	△5.20
実績値 (B)	119,882	△18,096	△21,441	△19,113	△28,707	△4.64
増減額 (B-A)	+8,482	+8,004	+7,659	+10,787	+3,493	+0.56
増減率 (%)	+7.6%	—	—	—	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (2023年3月期第2四半期)	138,296	△7,485	△11,779	△8,401	△11,633	△2.47

(2) 差異の理由

売上高は、販売が順調に推移したことに加え、円安の増収効果により、+7.6%上振れて着地いたしました。当第2四半期累計期間の業績予想の前提為替レートは1米ドル=130円としておりましたが、実績為替レートは、1米ドル=141.1円となりました。なお、下期業績予想の前提為替レートは1米ドル=140円としております。

EBITDA、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、上記円安効果、歩留まり等の生産性向上、生産性とコスト競争力が相対的に低い第3.5世代の東浦工場での生産停止等に伴う固定費削減、当社の戦略事業であるOLED（有機EL）事業の黒字化等により、前回発表予想に対してEBITDA+30.7%、営業利益+26.3%、経常利益+36.1%、及び親会社株主に帰属する四半期純利益+10.8%改善いたしました。

2. 営業外収益の計上

当第2四半期連結決算において、業務受託料879百万円を営業外収益に計上いたしました。本業

務受託料は、2023年3月に生産を停止した当社東浦工場の建物（以下「本建物」といいます。）の譲渡予定先との間で締結した2023年4月1日から2024年3月31日を対象期間とする業務委託契約に基づく収入であります。

なお、適時開示基準には該当いたしません。本建物の維持費用として資産保全費用611百万円を、当第2四半期連結決算において営業外費用に計上しております。

3. 特別損失の計上

当社の液晶ディスプレイ事業の資産の一部（主に無形資産）について、当面の収益性を保守的に評価した結果、当第2四半期連結決算において9,175百万円、同個別決算において5,114百万円の減損損失をそれぞれ特別損失に計上いたしました。

以 上